

2015(平成27)年調査データ“果樹害虫”(愛媛県病害虫防除所)

◎果樹カメムシ(チャバネアオカメムシ)越冬量調査

- (1)果樹を加害する主要3種では、チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシの順に多い。
- (2)いずれも成虫で越冬し、4月頃より活動を始め7月末頃まで生存し、モモ、ナシ等の果樹を加害する。
(8月頃から新成虫が発生する。)
- (3)チャバネアオカメムシは落葉下(クヌギ等)で越冬するため、毎年落ち葉を採集してきて越冬量の調査を実施(写真1)。
(越冬中のチャバネアオカメムシは暗褐色をしている(写真2)。)
- (4)越冬量が多い年は、5月から7月の発生が多くなる可能性が高いと考えられている。
- (5)なお、4月からは予察灯、集合フェロモントラップによる誘殺状況のデータを掲載の予定。

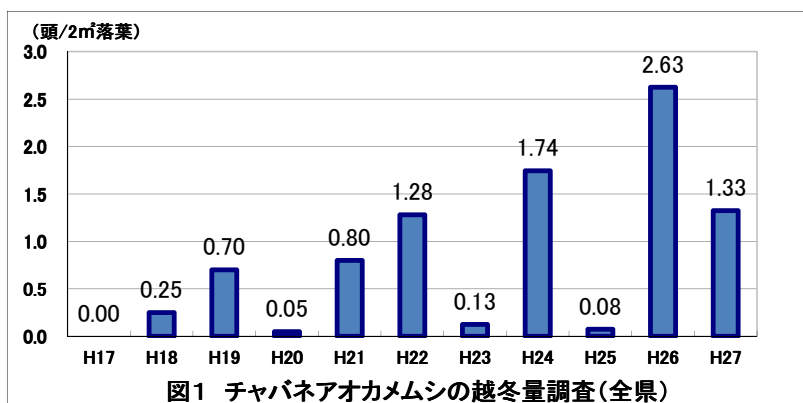
◎結果の要約

- (1)越冬虫数は1.33頭/2m²と平成(0.76頭/2m²)より多い。
- (2)越冬確認地点率は52.5%と平成(27.2%)より高かった。

(頭/2m²落葉)

	H27	平成	H26	H25	H24	H23	H22	H21	H20	H19	H18	H17
東予	0.70	0.68	0.80	0.00	1.90	0.00	2.50	0.20	0.06	1.24	0.10	0.00
中予	0.80	1.01	3.70	0.20	3.44	0.20	1.30	0.40	0.10	0.80	0.00	0.00
南予	1.90	0.68	3.00	0.05	0.90	0.15	0.65	1.30	0.00	0.25	0.46	0.00
全県	1.33	0.76	2.63	0.08	1.74	0.13	1.28	0.80	0.05	0.70	0.25	0.00
調査園地数	40	-	40	40	39	40	40	40	59	61	52	49
越冬確認地点率	52.5	27.2	55.0	7.5	53.8	12.5	52.5	42.5	3.4	27.9	17.3	0.0

※平成値は過去10年の平均値



◎防除上の注意

- (1) 果樹園への飛来は、曇天で夜温があまり下がらない日に多くなるので注意する。
- (2) 主に山林から果樹園に飛来するため、被害は山林に近い園地で早く発生し、多くなる傾向にある。
- (3) 園地で飛来を確認した場合には薬剤防除を行う。



写真1:越冬場所である落葉を採集し調査



写真2:チャバネアオカメムシ越冬成虫